

令和8年第2回吉備中央町議会定例会一般質問通告まとめ

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
1	6	河上真智子 (一問一答)	ケアラー支援条例について	家庭内での介護を担う家族の負担軽減が、充分になされているとは言い難いのが現状である。今後、どのような支援が必要とされ、その対策はどのようなものかを尋ねる。	町長
			1. 現在のケアラーの状況について	家庭内で介護を担っているケアラーの状況や人数の把握はできているか。	
			2. ケアラーへの支援について	「認知症カフェ」のような情報交換やほっと一息つけるような居場所づくりの要望があるが、開設に向けて対応は可能かを尋ねる。	
			3. 「ケアラー支援条例」について	各地で支援条例制定に向けた動きが起こっている。孤立しがちなケアラーを官民全体で支えていくためにも条例制定に向けての取り組みが必要ではないか対応を尋ねる。	
			吉備高原学園高校へのサポートについて	町内唯一の高校である吉備高原学園高校では、従来の全寮制に加え、新たに来年度から町内在住者の通学制度を設けた。これによって通学に要する負担軽減と進路選択の幅が広がった。	町長
			1. 通学制設置について	様々な交渉を経てようやく開設認可に至った。町長の今の思いを尋ねる。	
			2. 高校の存在が持つ意義について	高校生が地域行事や祭りに参加することによって、新たな交流や地域の活力が生まれている。高校の存在価値をどのように評価しているかを尋ねる。	
			3. 高校への支援について	高校から町との包括支援協定締結を通じて、今後の多方面での相互支援関係の推進の要望がある。中でも「ふるさと納税制度」への復帰後には、制度を活用した支援枠を新設してほしい旨の要望がある。この対応について尋ねる。	
			4. 通学制導入への対応について	通学手段の整備が必要となるが、公共交通や路線バスの時間調整など早めに取り組むべき課題があるが、その対応について尋ねる。	
			重森三玲氏の顕彰活動について	郷土の偉人である重森三玲氏の顕彰活動について、今後の取り組みや課題の検証が必要と考える。	
			1. 町内に実在する庭園などについて	天籟庵や友琳の庭など、町内各地に点在する庭園や茶室、生家跡などを今後も保存管理するためにも「名勝」として指定することが可能なものかを尋ねる。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(6)	河上真智子 (一問一答)	2. 移動手段の確保について 3. 案内標識などの整備について 4. インバウンドへの対応について 5. 生誕 100 周年祭について 6. 次世代の継承について 7. 友琳の庭について 8. 顕彰活動の今後について	<p>駅や空港からの移動の不便さを解消するの必要に加えて、町内での移動手段についての配慮も必要である。対応を尋ねる。</p> <p>車での移動でナビが使われるようになり、不便さは解消したが、より親切な対応も必要だと考える。その対応について尋ねる。</p> <p>海外でも高い評価を得ているため、見学そのものを目的とした海外からの来訪者が訪れている。英語での解説をした DVD の作成について尋ねる。</p> <p>重森氏が自ら本名を「三玲」と改名してから 100 周年を迎えることを記念して、吉川地区では生誕祭を企画されていると聞く。町の担当部署の協力体制について尋ねる。</p> <p>若い世代にも受け入れやすいように動画制作の構想がある。SNS を通じての PR 効果も大いに期待できるが、支援策は考えられるのかを尋ねる。</p> <p>友琳の庭は、賀陽庁舎の 2 階から眺めると全景を見ることができ最も美しい。玄関入り口から渡り廊下への案内表示や日本語・英語での解説 DVD の放映により、来訪者の満足度を高めることができるのではないかと考える。対応について尋ねる。</p> <p>吉川地区の有志のボランティア活動に負担をお願いしているだけでは、今後の継続性が危惧される。町の積極的な関与に加え、県や振興局、県観光協会等とも連携した支援の枠組みが必要ではないか。対応を尋ねる。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
2	8	山崎 誠 (一問一答)	<p>買い物施設の設置見通しと進展について</p> <p>1. 推進母体について</p> <p>2. 設置される施設の概要と見通しについて</p> <p>3. 地元商工業との連携、調整について</p>	<p>「買い物施設に係る PFI・DBO 研修会」が3月5日開かれ、コンサルタント会社から買い物施設の設置についてさまざまな説明があった。設置の見通しと進展について尋ねる。</p> <p>買い物施設の設置に向けた推進母体として協議会を設けるとの説明があった。</p> <p>①協議会は設置されたか</p> <p>②協議会委員の構成</p> <p>③協議内容及び設置期間の目安</p> <p>3月5日研修会で、コンサルタント会社から施設設置に必要な要件が示された。以下、どのように見通しているか。</p> <p>①施設全体のコンセプト 買い物施設のみか、地域コミュニティ機能、防災拠点など多機能にするのか。</p> <p>②資金調達の方法 公的資金、民間資金、地域住民の出資など。</p> <p>③施設の場所 具体的な見通しはあるか。</p> <p>④運営 自治体の関与、又は商工会や地域住民は参画するのか。上記事項は一括してDBO方式で行うのか。</p> <p>⑤DBO方式で行うとすれば、協議会との関係はどのようになるのか。</p> <p>これまで長く地元を支えてきた商工業関係者との競合が予測される。地元商工業者との連携、調整はどのように図られるのか。</p>	町長
			<p>道の駅・かよの整備について</p> <p>1. 駐車スペースの拡張について</p>	<p>「道の駅・かよの」は平成12年(2000年)オープンし、15年に道の駅に登録された。以来、「道の駅・円城」と共に、吉備中央町のランドマークとして町内外の多くの方々に親しまれ利用されてきたが、進入路、駐車スペースには難点があり改善が求められる。</p> <p>施設南側の「あずまや」のあった丘を削り、駐車スペースとして確保されると承知しているが、現在半分強が削られフラットになっているものの、舗装や案内板など整備は進んでいない。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(2)	(8)	山崎 誠 (一問一答)	2. 進入路について 3. 施設の更新について	<p>①この丘の全体的な利用計画はどのようになっているのか。丘は全て削りフラットにするのか。</p> <p>②全て駐車スペースとなるのか。</p> <p>③整備完了の時期はいつ頃になるのか。</p> <p>施設は国道 484 号に隣接しながらダイレクトに入れず迂回する構造になっており、かねてより指摘してきたが車の進入に難点がある。また、初めて通るドライバーは進入路に気づかず行き過る可能性もある。駐車スペースの整備にあわせ、国道 484 号からダイレクトに入れる進入路を造成すべきではないか。</p> <p>開業から 26 年経過し、その間トイレの新設、ウッドデッキや簡易ルーフなどが設置され訪れる人の利便向上が図られているが一部老朽化も見られる。町の顔としてさらに戦略的リニューアルが必要ではないか。例えば、「道の駅」部分のイメージアップの工夫、水車の復活、木陰の創出、ベンチの増設等々、利用者の声を聴き、より親しまれ楽しく気軽に立ち寄れる施設に改善すべき時期ではないか。</p>	
			大金鶏菊の繁茂と対処について	<p>大金鶏菊が町内でも繁茂し初めている。この植物は北米原産で非常に強い繁殖力があり、道路沿いや遊休農地、空き地など日当たりの良い場所で繁り、他の植物を駆逐し生態系を脅かすとして「特定外来生物」に指定されている。対処が必要ではないか。 以下尋ねる。</p> <p>①大金鶏菊は町内でどの程度広がっているか。</p> <p>②5 月から 7 月にかけて黄色い花を咲かせ、大量の種子をつける。その前の対処が効果的といわれている。対処方策は検討しているか。</p>	町長
			町長の公職選挙法違反報道について	<p>5 月 25 日朝のマスコミによれば、2023 年 10 月 14 日に催された懇親会で町長が一部の飲食費を支払ったとして書類送検された旨報道があった。</p> <p>①書類送検は事実か。</p> <p>②当日は円城浄水場 PFAS 汚染が発覚した日で、当時、対策委員会招集の遅れを指摘した。飲食費の一部については立替であり問題ないとの答弁であった。どうなっているのか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
3	5	丸山 節夫 (一問一答)	<p>農業政策の取り組みについて</p> <p>ふるさと納税対策(米作り応援事業)</p> <p>新たな米作り農家支援策の取り組み</p> <p>小規模農林事業等補助制度(設計単価の見直し)</p>	<p>町ふるさと納税検証会では、昨年10月から協議を開始され、本検証会の目的を果たすべき、誠実に作業を進められた。結果、実効性のある8つの具体的提言を盛り込む最終報告書を今年、2月20日付けで町長へ提出され検証会としての成果をまとめられた。</p> <p>これに関し、現在の状況と今後の対応について、次の3点を問う。</p> <p>①検証会がまとめた成果(8つの政策提言)に対する町長の受け止め方(認識)を問う。</p> <p>②制度運用の再構築と再発防止について、現在の動向、今後どのような進捗がなされるのか問う。 (主に専属組織の新設とチェック体制の強化について)</p> <p>③再指定に要する信頼回復(総務省・寄付者・生産者に対する)対策・方針と寄付者の呼び戻し策について</p> <p>町は、ふるさと納税制度違反(調達費基準超過)により、2年間の指定取り消し処分を受けた。制度復帰には国が定める3割以下の基準遵守が原則であるが、このことは、買取条件が厳しくなることに加え、農家収入額の減少に繋がる可能性を含む。3割ルールを遵守しなければならない一方で、町の基幹産業としての米作り農家の経営も守らなければならない。このふたつの問題を踏まえ、新たな農家支援策の仕組みづくりは、町全体で早急に取り組むべき課題と感じる。これについて、どの様にお考えか。</p> <p>今日、資機材や人件費の急激な高騰により、実勢単価が町の積算単価を大きく上回る現象が見受けられる。</p> <p>これは、自己負担の増額や依頼業者の請負辞退による申請のあきらめなど、本来の制度目的が機能しない現状と受け止める。</p> <p>町の農業を支える重要な制度運用を推進するため、次の3点につき提案する。</p> <p>①公共工事設計労務単価及び資材単価を事業の積算基準反映に努める。</p> <p>②種目により補助金限度額の引き上げ</p> <p>③直営施行(個人や地域住民共同施工)の適正評価</p> <p>以上の3点につき町長の見解を問う。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
4	7	平澤 一浩 (一問一答)	防災協定について	<p>3月27日に県キッチンカー協会(倉敷市児島下の町)と災害時の炊き出しに関する協定を結んだ。協定では、大雨や土砂災害などが町内で発生した際、町の要請に応じて協会がキッチンカーを避難所などに派遣。温かい食事を提供する。材料費は町側が負担する。との報道がなされた。このことを踏まえて以下のことを問う。</p> <p>①協定締結の目的と想定される活動</p> <p>②派遣判断の基準と指揮系統</p> <p>③備蓄食との兼ね合い</p> <p>④派遣可能台数と避難所への対応人数</p> <p>⑤机上訓練ならび、実際のキッチンカーが派遣されるための実施訓練の有無</p>	町長
			部活動地域移行と遠征等における安全確保について	<p>①地域移行と中山間地域の現実と課題</p> <p>②地域移行後の移動支援体制と安全確保</p> <p>③安全管理責任体制</p>	教育長
			吉備中央町海外派遣等支援事業実施規則 規則第21号について	<p>吉備中央町海外派遣等支援事業実施規則(平成16年10月1日規則第21号)</p> <p>この規則は、吉備中央町の次代を担う人材を育成するため、海外派遣等支援事業の実施に関し必要な事項を定めるものです。</p> <p>①制度創設時の理念</p> <p>②現在までの成果ならび「公的機関による海外研修等の事業」とはどのような事例を指すのか。</p> <p>③今後の方向性として制定から20年以上経過しているが、制度をどう評価し、継続するのか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
5	11	黒田 員米 (一問一答)	1. 物価高騰対策 給付金に係る生活保護制度上の 収入認定運用について	<p>【質問1】 今回の2万円給付について、生活保護受給世帯の一部で返還が求められている状況を町として把握しているか。</p> <p>【質問2】 町として、今回の2万円給付はどのような趣旨・目的・思いの中で実施したのか。</p> <p>【質問3】 国は、近年の物価高騰対策給付金等について「収入認定除外」とする通知を発出しているが、自治体独自給付については全国で運用に差が生じている。町として、こうした制度運用の分かりにくさや地域差について課題認識はあるか。</p> <p>【質問4】 厚生労働省通知では、「これによりがたい場合」は厚生労働省への情報提供等も示されている。岡山県または備前県民局が、今回のような全町民一律支援について、厚生労働省へ協議や照会を行ったのか、町として把握しているか。</p> <p>【質問5】 今回のようなケースについて、町として岡山県に対して制度運用にあたり、一律的な判断ではなく、町の思いを聴きとった中で柔軟な運営を模索するよう、制度改善要望や運用制度の制定を要望する考えはあるか。</p> <p>【質問6】 今後、町としては国に対して、物価高騰対策給付金の全国統一ルール化、自治体独自給付の収入認定除外拡大などを要望していく考えはあるか。</p>	町長
			2. 「待ち下校」における管理責任の区分について	<p>【質問1】 本町の、待ち下校の位置付けは、学校教育活動なのか、学校安全管理の一環なのか、放課後児童健全育成事業なのか、本町独自の安全対策事業なのか。</p> <p>【質問2】 会計年度任用職員の任用と指揮命令系統について、 ①当該職員の任命権者は誰か ②所属はどこか ③指揮命令者は誰か ④兼務発令等が行われているのか ⑤業務内容は明確に整理されているのか ⑥事故発生時の責任区分についても整理されているのか。</p> <p>【質問3】 現在の運用の合理性について、本来、一斉下校は児童の安全確保を目的としているはずである。しかし現在は、「一斉下校という運用そのものを維持すること」が目的化していないか。町として、現在の運用をどのように評価しているのか。</p>	教育長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(5)	(11)	黒田 員米 (一問一答)		<p>【質問4】学校から放課後児童クラブへの児童の受け渡し時間のずれについて、町として、一定の許容幅を持った柔軟な運用を検討する考えはないか。</p> <p>【質問5】教育委員会、子育て推進課、小学校、放課後児童クラブが連携し、責任区分、指揮命令系統、安全管理、児童負担軽減、職員負担軽減を含めた運用見直しを行うべきではないか。また、庁内協議体の設置や運営マニュアル整備を進める考えはないか。</p>	
			3. 協働でひらく新たなまちづくり実践事業補助金の見直しについて	<p>【質問1】本町では平成20年に「協働でひらく新たなまちづくり実践事業補助金交付規則」を制定し、地域住民主体によるまちづくり活動を支援している。この制度は、地域活性化や行政との協働を目的とした先進的な制度であると評価しているが、一方で現在の中山間地域の実情、すなわち少子高齢化、人口減少、担い手不足、地域役員の固定化などを踏まえると、制度内容が現状に十分対応できていない部分もあると考える。まず、町は現在の制度について、どのような成果と課題があると認識しているのか。</p> <p>【質問2】本制度では、「独創的」「先駆的」「新たに始める活動」を重視する一方で、「既存の定例的活動」は対象外となっている。しかし現在の地域課題は、草刈り、防災、高齢者見守り、移動支援など、“地域を維持する活動”そのものが困難になっている。本来、今後の地域づくりでは、「新しいイベント」だけではなく、「地域を維持する活動」そのものを支援対象としていく必要があるのではないか。</p> <p>【質問3】本制度では補助対象経費から飲食費を除外している。しかし現在の地域活動では、高齢者サロン、子どもの居場所づくり、防災炊き出し、多世代交流、など、今後は「食」を通じた地域交流が重要になってきている。特に中山間地域では、「一緒に食事をする事」自体が孤立防止や見守りにつながる。一律に飲食費を除外する現在の制度は、現場実態に合っていないのではないか。例えば、アルコールを除外したうえで、交流活動に必要な最低限の飲食費を認めるなど、柔軟な制度設計を検討すべきではないか。</p> <p>【質問4】本制度では、「構成員へ支払う経費」は対象外となっている。しかし、今後現実に継続的な組織運営を行うためには、事業内容の企画運営、人材確保やスケジュール調整、草刈りや清掃など施設管理、利用者参加者の移動に関する運転、会場設営、技術的作業、広報活動など、多くの実務を地域住民が担っている。現在の地域活動は、善意だけで成り立つ段階を超えており、最低限の実費や謝金があれば若い世代の参加は広がらない。燃料代や技術謝礼などについて、一定条件のもとで対象化する考えはないか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(5)	(11)	黒田 員米 (一問一答)		<p>【質問 5】本制度では備品購入費が対象外となっている。しかし地域活動を継続するためには、刈払機、発電機、テント、無線機、タブレットなど、地域共有備品が必要となる場合が多い。条件付きでも備品購入を認めなければ、持続的な地域活動は難しいのではないか。</p> <p>【質問 6】本制度の補助率は 2 分の 1 以内、上限 20 万円となっている。しかし平成 20 年当時 (18 年前) と比較し、燃料費、資材費、印刷費、保険料などは大幅に上昇している。また、地域側の財政力は低下しており、50% 自己負担は非常に重い。 現在の物価や地域実態に合わせ、補助率引上げ、過疎地域特例、上限額見直しなどを検討する考えはないか。</p> <p>【質問 7】補助対象団体は「10 名以上」とされている。しかし小規模集落では、実働人数 5 人程度という地域も珍しくない。結果として、最も困っている小規模地域ほど制度を利用しにくい。過疎地域特例として、5 人以上、複数自治会・組織合同など柔軟な運用を検討できないか。</p> <p>【質問 8】本制度は同一事業 3 年間で限度となっている。しかし地域活動は、立ち上げよりも「継続」が最も困難である。特に、地域交通、見守り、防災、高齢者支援などは長期継続が必要。一律 3 年で終了する制度ではなく、立上げ支援、定着支援、継続支援という段階的的制度設計が必要ではないか。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
6	3	我妻 瑛子 (一問一答)	1. ふるさと納税制度復帰に向けて	<p>2026年度産米の価格暴落が懸念されている。ふるさと納税制度を利用した町による買取りがないなか、不安を抱えながらの田植えが行われた。</p> <p>①ふるさと納税制度利用復帰後の制度設計の検討状況を問う。</p> <p>②制度設計に直接農家の声を反映する仕組みを検討してはいかがか。</p> <p>③大幅な返礼米不足という失敗を踏まえて、どのように米を集めるのか。</p>	町長
			<p>2. 複合的な買い物施設の整備</p> <p>(1)現状認識と課題</p> <p>(2)具体的な構想</p> <p>(3)住民参加型</p> <p>(4)財源</p> <p>(5)スケジュール</p>	<p>「町では豊かな買い物環境の整備だけにとどまらず、公共施設や移住定住、観光など、多くの方が交流でき、賑わい拠点としても機能する、複合的な買い物施設の創設に向け、検討を進める」と3月議会の施政方針や広報において、複合的な買い物施設整備の方針が示された。</p> <p>買い物環境の整備を求める声は多いと感じているが、具体的にこれまで町はどのように住民にニーズを把握してきたのか。また、暮らしにおける買い物環境の認識と課題をどう捉え、買い物施設の整備が必要とした根拠は何か。</p> <p>①立地、「買い物」の内容、店舗の種類をどう考えているか。またターゲットをどのように設定しているのか。</p> <p>②「買い物環境の整備だけでなく、公共施設や移住定住、観光など、多くの方が交流でき、賑わい拠点としても機能する、複合的な買い物施設の創設に向け、検討を進める」としている。具体的に何が想定されているのか、またその役割や効果をどのように考えているか。</p> <p>①住民出資なども合わせて、町づくりに参加し、自分たちの施設と思えるものにすることが、成功の鍵ではないか。計画案や検討状況をHPなどで公表し、パブリックコメントの実施、住民と意見交換できる場を作り、町民と一緒に作るという形で進めてはどうか。</p> <p>②具体化検討する上で、住民ニーズを細かく掴む調査をしてはどうか。</p> <p>事業費は現段階でどのように想定されているか。また、その調達の方法は。</p> <p>計画の検討方法は。設計や施工、テナント募集選定などのスケジュールはどのように考えているか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(6)	(3)	我妻 瑛子 (一問一答)	(6)町内既存業者	町内の現状では町民ニーズに応えきれないことから、消費が町外へ流れており、また町民にとってもその労力は大きいものとなっている。同時に、町内ではスーパーマーケットや個人商店、移動販売が少ない人口の中で営業されており、間違いなく町民や地域の生活を支えている。新たな買い物環境ができたとしても、広大なこの町でこれら既存の営業は、無くてはならないものである。 町外へと流れていたものだけを呼び込むというのは難しく、競合により存続を危うくするのではないかという懸念をどのように捉えているか。	
			3. きびアプリによる買い物サービス	買い物環境の整備としておこなわれてきた、きびアプリを利用した買い物サービス。この事業の総括が必要なタイミングと考える。 ①事業の目的とその達成度、課題や今後の見通しは。 ②きびアプリでの買い物サービスは、家にいながら注文した商品が届くというもので、これまで配達料無料キャンペーン中となってきた。各商品の金額には、配達料が乗っていないという理解でよいか。また、HP 上では無料キャンペーンは 2026 年 12 月末までと示されている。2027 年 1 月以降はどのような運用になるのか。 ③このきびアプリの買い物サービスで、毎日の食事を支えているという利用の仕方をしているユーザーはどれだけいるのか。	町長
			4. 町長の書類送検の報道を受けて	本件については 2024 年 4 月の報道があり、同年 6 月定例会一般質問での質疑のなかで町長より説明されたが、書類送検ということに至った。何が課題だったと認識しているか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
7	1	日名 由香 (一問一答)	旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校移転後の危機管理体制	旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校は、来年度の移転に向けた準備が進められているが、両施設ともハザード区域内に位置している。特に旧下竹荘小学校は、教育・福祉機能の集約も予定されていることから、災害時の安全確保に向けたソフト面の整備が重要であると考えます。 豪雨災害や停電、通信障害など複合災害も想定される中、移転後の危機管理体制を伺う。	町長
			災害リスクの整理状況	①旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校について、現在想定している災害リスクをどのように整理しているか。	
			移転後の職員配置及び運営体制	②旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校への移転後、教育委員会や関係機関を含め、どのような職員配置及び運営体制を想定しているのか。また、災害発生時における指揮命令系統や役割分担をどのように整理する考えか。	
			複合災害を想定した安全対策及び避難行動マニュアル	③豪雨災害や土砂災害、停電、通信障害など複合的な災害に備え、職員や施設利用者の安全確保のため、どのような安全対策や避難行動マニュアルの整備を考えているのか。また、実際に行動できる体制づくりに向け、どのような方法で周知や訓練をおこなう考えか。	
			災害時における本庁舎との連携及び情報共有体制	④災害時または施設が被災した場合において、本庁舎との連携や情報共有、応援体制をどのように整理しているのか。また、停電や通信障害が発生した場合の連絡手段や対応ルールをどのように想定しているのか。	
			放課後児童クラブの運営	共働き世帯の増加などにより、放課後児童クラブは、子どもたちの居場所として、ますます重要になっている。 また、令和7年3月16日には、子育て推進課より、放課後児童クラブを利用する児童の保護者向けに「コドモン」アプリを活用したアンケートが実施され、利用者の声を把握しようとする取り組みがおこなわれていた。 放課後児童クラブは、公設公営となって1年が経過した。実際に運営してみて見えてきた課題や、保護者ニーズへの対応も重要であると考えます。そこで、放課後児童クラブの利用状況やアンケート結果、今後の運営について、次の点を伺う。	町長
		放課後児童クラブの利用状況	①放課後児童クラブの利用状況は公設公営化後、利用者数や利用形態に何か変化があったのか。また、実際の運営の中で、保護者ニーズへの対応や安全管理、支援体制など、どのような課題が見えてきたのか。		
		「コドモン」アンケート結果	②令和8年3月16日に実施された「コドモン」アンケートの回収率はどの程度であったか。また、保護者からはどのような意見や要望が寄せられたのか。		

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者	
(7)	(1)	日名 由香 (一問一答)	今後の運営体制	<p>③アンケート項目にあった長期休み期間中のお弁当について、保護者ニーズをどのように把握しているのか。また、今後の対応をどのように考えているのか。</p> <p>④公設公営化後1年間の運営を踏まえ、町として成果と課題をどのように整理しているのか。また、保護者ニーズや現場の課題を踏まえ、今後どのような運営体制を目指していく考えか。</p>		
			共催及び後援の運用	<p>地域活動や子ども支援、文化・教育活動など、多様な主体による取り組みが広がる中、共催及び後援に関する町の考え方を確認したい。承認基準や運用ルールは、町民や団体に分かりにくい部分もあることから、公平性や透明性の確保が重要であると考えている。</p> <p>そこで、吉備中央町における共催及び後援の考え方や運用を伺う。</p>		町長
			共催及び後援の判断基準	<p>①吉備中央町における共催及び後援の承認は、現在どのような基準や運用ルールに基づいて判断しているのか。</p> <p>②教育、文化、地域振興、子育てなど、分野ごとに判断基準や審査方法に違いはあるのか。</p> <p>③共催と後援では、町の関与や責任をどのような違いがあると整理しているのか。</p>		
			承認手続きと運用ルール	<p>④申請団体に対し、承認・不承認の判断理由はどのように説明しているのか。また、公平性や透明性をどのように確保しているのか。</p>		
			民間団体との連携におけるルール整理	<p>⑤近年、地域活動や民間団体との連携が重要になる中、今後どのような視点で共催・後援制度を運用していく考えか。</p>		

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
8	2	渡邊 順子 (一問一答)	ごみ回収について	<p>町で、ごみ回収を実施しているが、町が発行している「ごみ分別ガイドブック」を参考に、ごみ全般に関していくつか尋ねる。</p> <p>①ごみの回収において、町では、燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどに分別されているが、実際には何種類に分別されているのか。また、そのごみの回収方法を尋ねる。</p> <p>②ごみの分別において、しっかり分別できているか。分別や回収方法について、また回収作業においてトラブルは起こっていないか。</p> <p>③ごみの出し方について、ガイドブックにはそれぞれ詳しく書かれている。その中で、電池類の出し方によっては回収時に発火の恐れや事故につながることもある。そこで、電池類の出し方について詳しく尋ねたい。</p> <p>④年々ごみの量が増加しているようにも感じるが、実際ごみ全体の重量は、どれくらいか。また各ごみの分別ごとの重量は把握されているのか。</p> <p>⑤ごみの減量化は課題である。そのために生ごみ処理容器購入費補助制度やごみ減量化協力団体報奨金制度等ある。このごみ減量化協力団体は町内に何団体あるのか。また、報奨金は年間どのくらいか。</p>	町長
			閉校小学校備品について	閉校小学校に残された備品について、1年間かけて引き渡し作業を終えた。それでもまだ残っているものについて、最終的に今後どうするのかを尋ねる。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
9	10	片岡 昭彦 (一 括)	地球温暖化対策への取り組みについて	<p>1 地球温暖化対策とは、人間の活動によって増えすぎた二酸化炭素などの「温室効果ガス」の排出を抑え、地球の気温上昇を食い止めるためのすべての取り組みである。</p> <p>国内はもとより、世界中において、近年は異常気象ともいえる、猛暑、巨大台風、集中豪雨が頻発しているのが現状である。</p> <p>こうした状況化において、吉備中央町では、どのように受け止め、どのような対策を講じていくのか。</p> <p>2 県下でも多くの自治体が、様々な地球温暖化対策として公共施設はもとより、行政・企業・地域住民が三位一体となり、それぞれの立場から取り組んでいる。</p> <p>自治体からは、住民の負担を軽減する支援策として、家庭から排出される二酸化炭素の抑制を図るため、家庭における様々な省エネルギー化設備などの導入を支援している。本町においても、導入の増加が見込まれる電気自動車（EV）の購入助成などといった支援を行う考えはないか。</p>	町長